

J-STAGE *NEWS*

J-STAGEニュース



CONTENTS

- 01 J-STAGEアップデートのお知らせ ~資料・記事検索機能の強化~
- 02 2021年度 第2回J-STAGEセミナー開催報告

https://doi.org/10.34344/jstagenews.2021.47.1

©2021 Japan Science and Technology Agency



J-STAGEアップデートのお知らせ ~資料・記事検索機能の強化~

J-STAGEでは、ユーザーからの要望や電子ジャーナル出版業界の最新動向等を踏まえ、システムの改善や機能拡張に取り組んでいます。このコーナーでは、開発・改修中あるいは新たにリリースした機能・ツールをご紹介します。

今回は、2021年9月に行った資料・記事検索機能の強化についてご紹介します。

① 検索機能の拡張

資料および記事の検索機能を強化し、より複雑な条件指定が行えるようになりました(図1、図2)。

- 記事の検索条件を指定する際、プルダウンからキーワードや抄録等の検索対象項目を選択し、テキストボックスに検索語を入力する従来の「指定検索」機能に加え、演算子や括弧などを用いた複雑な検索条件指定が可能な「検索式を入力」機能を追加しました。
- 記事検索の「指定検索」機能においてNOTを指定するチェックボックスを追加した他、資料の検索でもAND、OR、NOTが利用できるようになりました。
- 記事検索において、検索結果画面から検索条件指定画面へ戻る際、検索条件が保持されるようになりました。
- カタカナの検索仕様を変更し、部分一致でもヒットするようになりました。
- 検索結果の表示時に検索語と一致する部分がハイライト表

示されるようになりました。
(一部対象外の項目があります)

② 編集搭載システムの改修

記事検索の網羅性を高めることを目的に、個々の記事に対し検索用全文テキストを整備するための以下の改修を行いました。

i) 全文テキスト自動作成機能

記事の公開日設定時に、検索用の全文テキストがアップロードされていない場合は本文PDFから全文テキストを自動作成する機能を追加しました。なお、これまでどおり、発行機関で作成した全文テキストをアップロードすることも可能です。

全文テキスト自動作成機能においては、PDFのページ番号やスペース等の不要な文字も抽出される場合があるため、可能な場合は発行機関で全文テキストをご準備いただくことを推奨します。

ii) 本文PDF・全文テキストの必須化

記事の公開日設定(複数記事に対する公開日一括設定を含む)時に、本文PDFがアップロードされていない場合はエラーを表示するようにしました。また、公開日一括設定においては本文PDFに加え全文テキストが無い場合もエラーとな

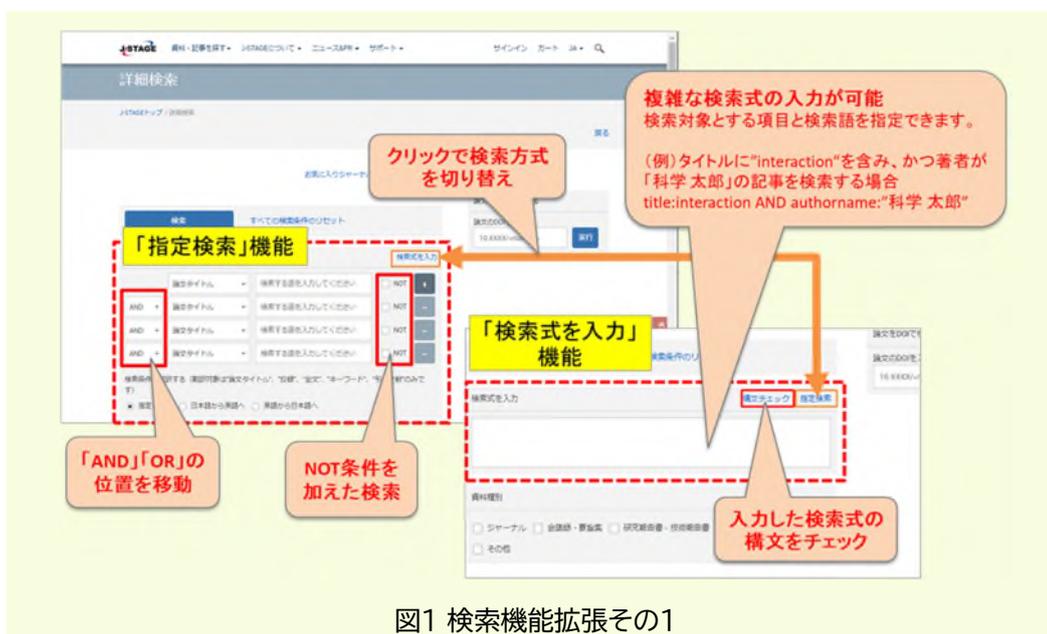


図1 検索機能拡張その1

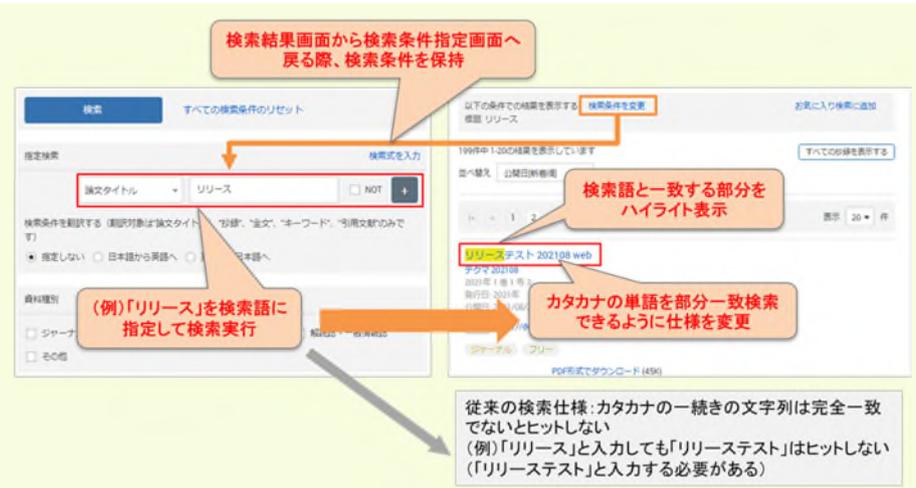


図2 検索機能拡張その2

ります(個々の記事に対する公開日設定においては、全文テキストが無い場合にはi)の機能によって自動作成されます)。詳細はリリースノートをご覧ください。

- 検索機能拡張について
https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/pub_release_20210925_1.pdf
- 編集掲載システムの改修について
https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/pub_release_20210925_3.pdf

※この記事に関するご質問等は下記までお問い合わせください。
JST(科学技術振興機構)
情報基盤事業部
J-STAGEセンター
☒メールアドレス:
center@jstage.jst.go.jp

2021年度 第2回J-STAGEセミナー開催報告

<https://doi.org/10.34344/jstagenews.2021.47.2>
©2021 Japan Science and Technology Agency



2021年10月27日(水)、今年度第2回のJ-STAGEセミナー(JST-STMジョイントセミナー)を開催しました。今年度のJ-STAGEセミナーでは、「研究成果発信の多様化とジャーナル」を年間テーマとしています。今回、STM国際出版社協会(STM)とのジョイントセミナーとしては4回目となり、海外学術出版の動向や新しい研究成果情報流通の形をトピックに、「研究公正、出版物、プレプリントの品質および査読の役割」と題し、3部構成で開催しました。

以下のプログラムのとおり、JSTが主催する第1部では、新しい研究成果発信形態の動向やプレプリントと学術誌の関係、プレプリントポリシーに関する事例等を取り上げ、STMが主催する第2部では、査読プロセスの透明化や研究評価、プレプリントを取り巻く海外の状況等を紹介し、第3部ではJSTとSTMの合同で、プレプリントと査読の価値をテーマとしたパネルディスカッションを行いました。

<プログラム>

- 第1部:J-STAGEセミナー
基調講演:「研究成果発信の新しい方向性」
-引原 隆士氏(京都大学)
「プレプリントと学術誌の関係性:一研究者と学術誌編集委員長の立場から」
-高井 研氏(海洋研究開発機構)
「Japanese Journal of Infectious Diseases誌(JJID)におけるプレプリントポリシーと今後の展望」
-阿戸 学氏(国立感染症研究所)

第2部:STMセミナー
「Improving Research Integrity through Collabora-

- tion & Technology」
-Joris van Rossum氏(STM Director for Research Integrity)
「Preprints, journals, and the balance of speed and quality in research dissemination」
-Theodora Bloom氏(The BMJ)
「How to evaluate the quality of research publications: problems and suggestions」
-小泉 周氏(自然科学研究機構)

第3部:JST、STM合同パート
パネルディスカッション
-各発表者
-モデレーター:小賀坂 康志(JST)

今回のJ-STAGEセミナーは、206名もの参加をいただき、講演終了後のアンケートでは、「プレプリント投稿後の反響や研究の話が面白かった」「STMの取組や海外出版社の状況が参考になった」「プレプリントの投稿規定を考える参考になった」などの回答をいただきました。講演のスライドはJ-STAGEのサイト*1からご覧いただけます。

*1) <https://www.jstage.jst.go.jp/static/pages/News/TAB4/PastIssues/-char/ja#2111/15>

第3回 J-STAGE セミナーは、2022年3月頃に開催いたします。ジャーナルを取り巻く環境が変化する中、運営の改善に取り組んだジャーナルの実施事例等をご紹介する予定です。皆さまの参加をお待ちしております。

◆JST公式Twitter (@JST_info)

JSTからのプレスリリース・募集案内・イベント情報などをお届けします。

https://twitter.com/JST_info

◆J-STAGE公式Twitter (@jstage_ej)

J-STAGEのメンテナンスやイベントに関する情報などをお届けします。

https://twitter.com/jstage_ej

ぜひ、フォローしてください!

J-STAGEニュース No.47 2021年12月17日発行
編集発行: 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)
情報基盤事業部 研究成果情報グループ
〒102-8666
東京都千代田区四番町 5-3 サイエンスプラザ
E-MAIL : contact@jstage.jst.go.jp

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja>

©2021 Japan Science and Technology Agency